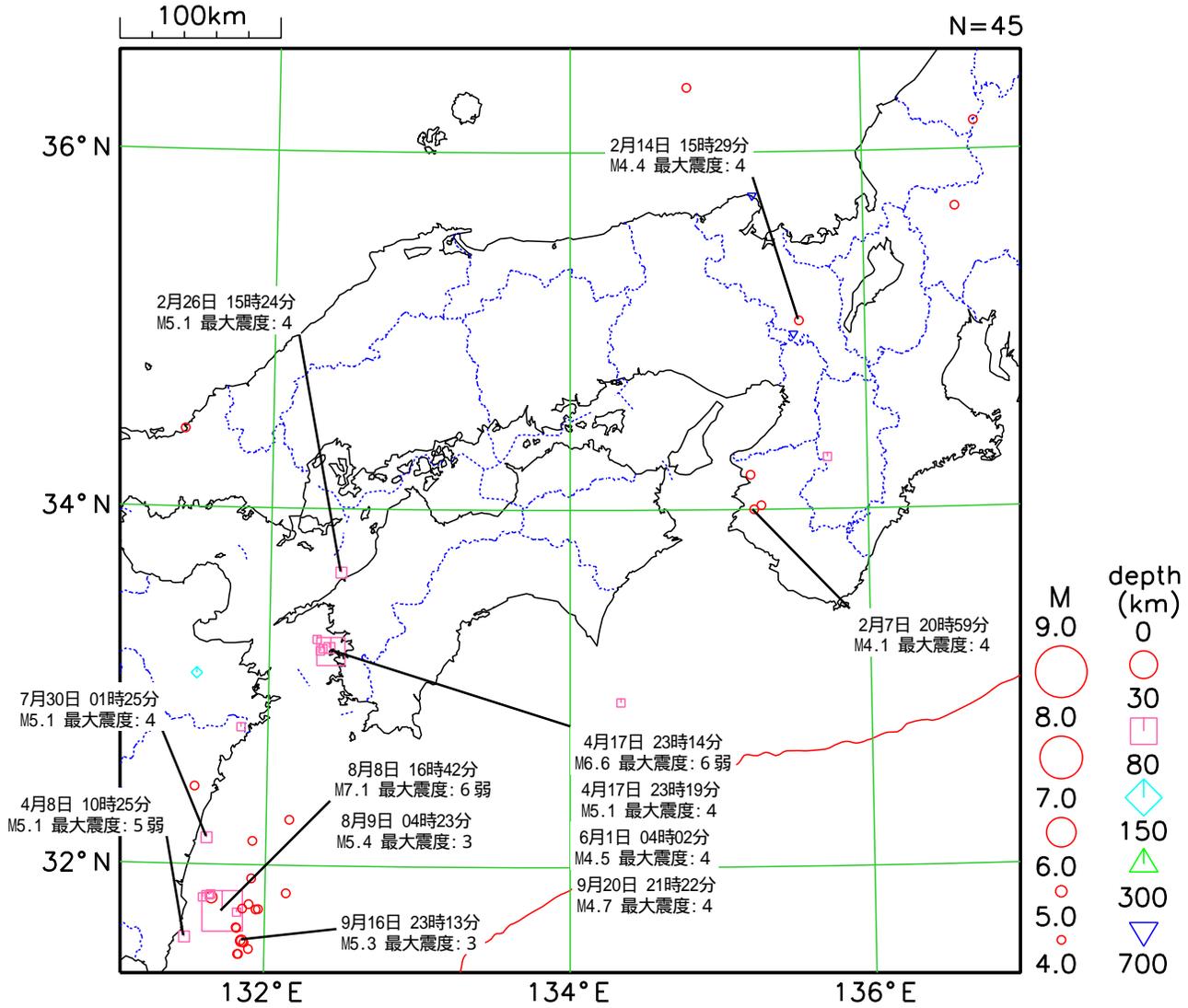


大阪管区気象台 管内地震活動図(2024年)

2024 01 01 00:00 -- 2024 12 31 24:00



概況

図中の吹き出しは管内で震度4以上を観測した地震またはM5.0以上の地震に付加

2024年に上図の範囲内で発生したM4.0以上の地震は45回(2023年は17回)でした。

2024年に管内で震度1以上を観測した地震は284回(2023年は163回)、このうち震度4以上を観測した地震は9回(2023年は2回)でした。

2024年の主な地震活動は次のとおりです。

1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震(上図の範囲外)が発生し、石川県輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強~1を観測しました。管内では鳥取県の境港市境で60cmなど、京都府から山口県で津波を観測しました。当庁では、今回の地震及び2020年12月以降の一連の地震活動を「令和6年能登半島地震」と決めました。

4月17日23時14分に豊後水道の深さ39kmでM6.6の地震が発生し、愛媛県愛南町及び高知県宿毛市で震度6弱を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて及び伊豆諸島で震度5強~1を観測しました。この地震の震源付近では、12月31日までに震度1以上を観測する地震が87回発生するなど地震活動が活発となりました。

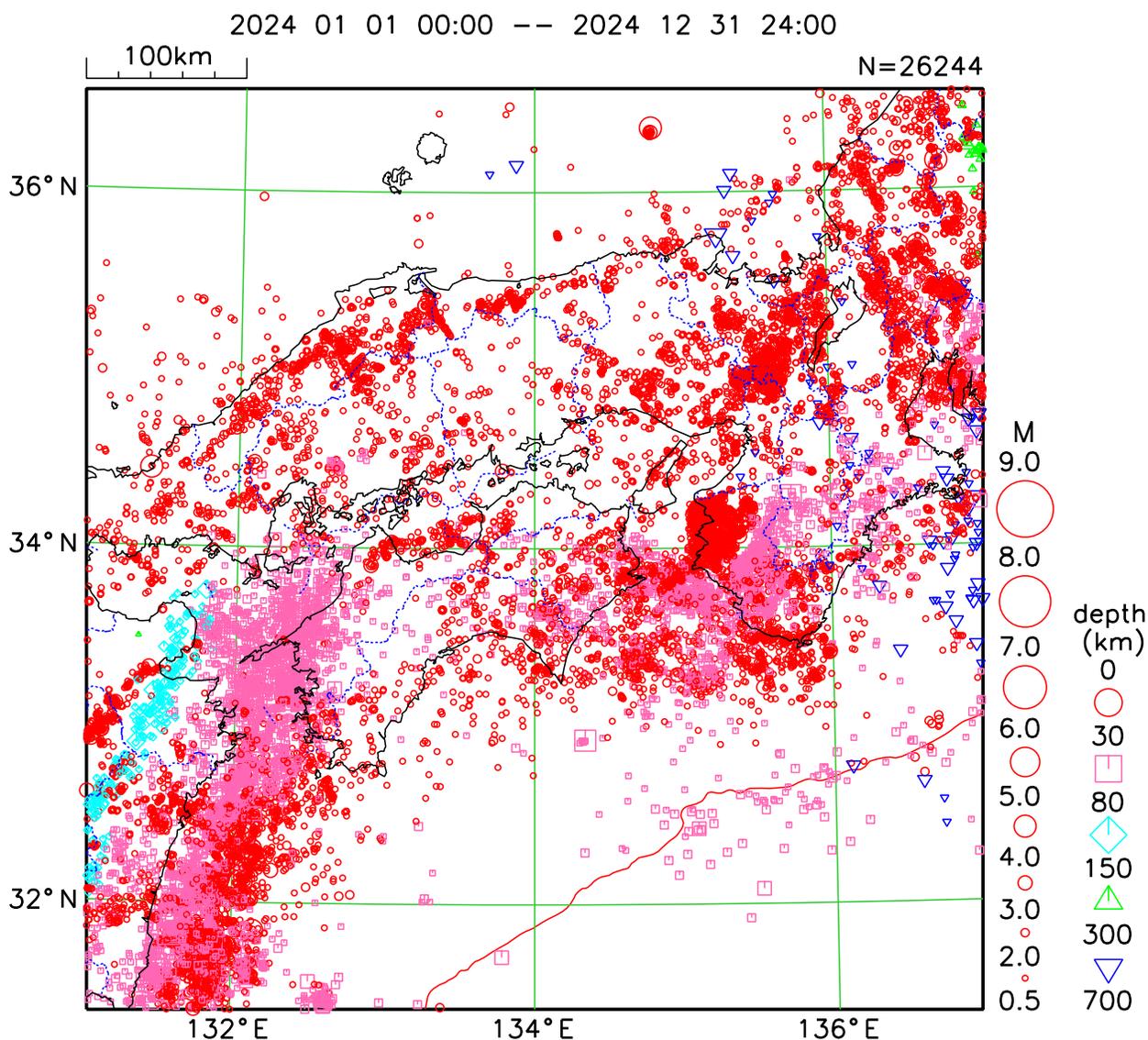
8月8日16時42分に日向灘の深さ31kmでM7.1の地震が発生し、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強~1を観測しました。管内では高知県の土佐清水で25cmなど、太平洋側を中心に津波を観測しました。また、8月8日19時15分には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表しました。

9月24日08時14分に鳥島近海の深さ10km(CMT解による)でM5.8の地震(震度1以上を観測した地点はなし)が発生しました。管内では高知県の土佐清水で8cm、室戸市室戸岬で4cmの津波を観測しました。

本資料の震源要素及び震源データは、再調査されたあと修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

大阪管区気象台 管内地震活動図(2024年)

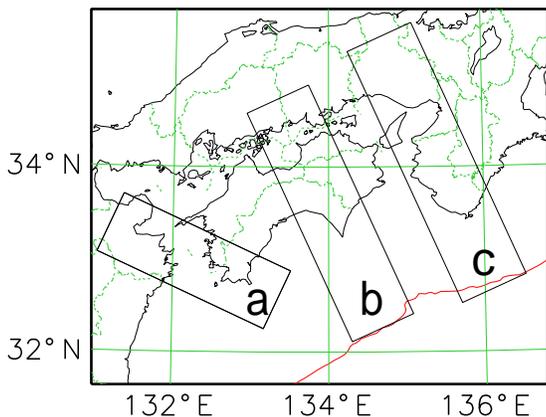


概況

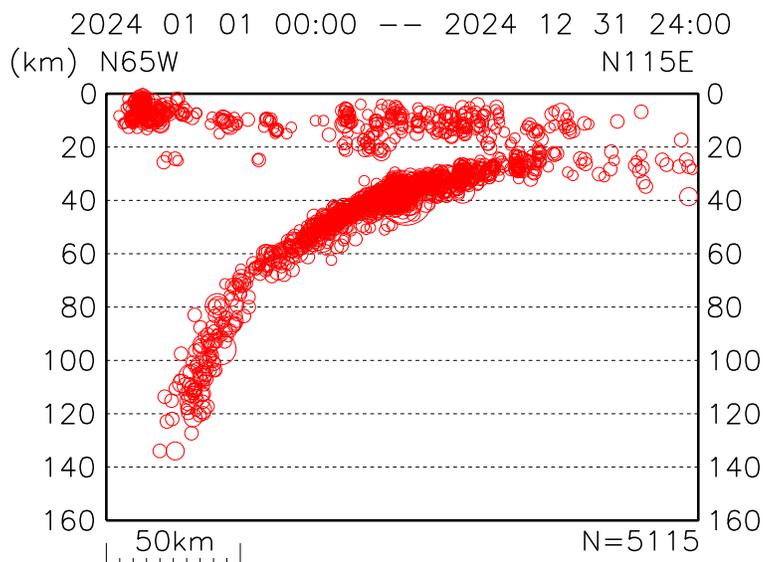
上図の範囲内で、2024年に震源を決定した地震のうち、M0.5以上の地震は26,244回(2023年は21,649回)でした。

管内地震活動図(断面図)

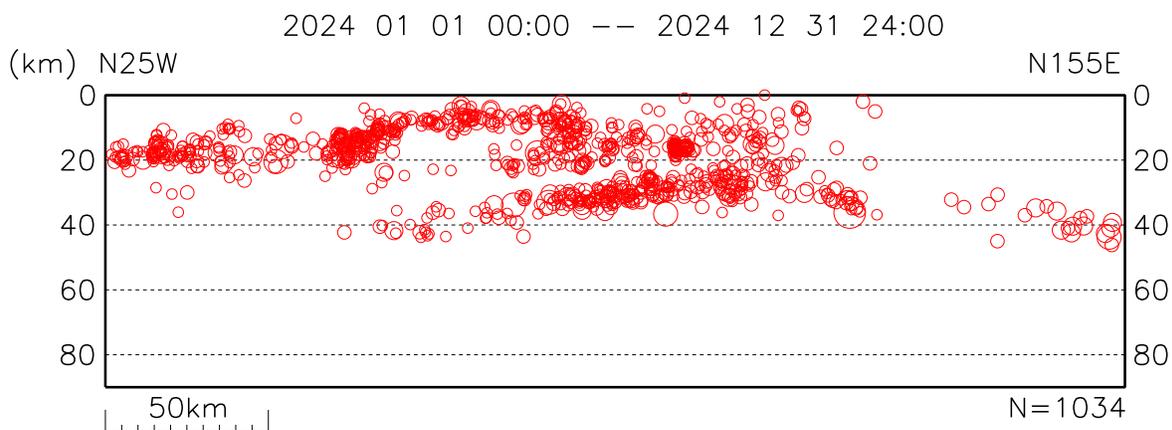
領域図



a. 豊後水道



b. 瀬戸内海中部～四国沖



c. 兵庫～和歌山南方沖

